

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	再犯防止推進事業				事業番号	011-264	
担当部署名	健康福祉局	局	生活福祉部	部	地域共生推進課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(5)犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現
			有	取組の方向性	①防犯環境の整備		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3

2	関連計画	第5次堺市地域福祉計画		
3	事業開始年度	昭和 60 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 13 年度
4	実施根拠	再犯の防止等の推進に関する法律、堺市保護司会事業補助金交付要綱、堺市更生保護女性会事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	堺市、堺市保護司会連絡協議会、堺市更生保護女性会、堺地区 B B S 会、大阪保護観察所堺支部、各矯正施設		
6	事業の対象	市民	対象数	単位
			804,163	人
7	事業の目的	・犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生に理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪のない地域社会を築くこと。 ・再犯防止のための地域社会における支援を行っている更生保護団体への支援を行うこと。		
8	事業内容	・犯罪予防活動、更生保護活動・更生保護の日である7月1日頃に堺市大会を開催し、各地域で啓発活動を展開。 ・リーフレット配布等による啓発・広報活動や教育関係機関や各団体等による協議会・座談会等を開催。 ・地域におけるミニ集会・講演会等の開催。 ・小中学生を対象に犯罪や非行の防止、更生保護に関する理解を深めることを目的に作文コンテストを実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	「社会を明るくする運動」堺市推進委員会、堺市保護司会連絡協議会、堺市更生保護女性会		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	関係団体の更生支援を目的とする事業の円滑な実施						
	当該目標を設定した理由	保護司による保護観察や犯罪予防に関する活動等が活発に行われる環境整備につながり、地域における更生保護活動の充実に資するため。					
	目標に対する実績	「大阪刑務所社会復帰支援指導プログラム」への参加、「『社会を明るくする運動』作文コンテスト表彰式」の開催、「更生保護茶会」・「堺市更生保護女性会60周年記念のつどい」の開催、保護司等向け薬物研修の実施、「更生支援と地域福祉とつなぐ 堺で協働をすすめるためのソーシャルワーク研修」の実施					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	「社会を明るくする運動」堺市大会参加者数		目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		人	実績値	300	350	350	
			達成率	327	343		
	当該指標を選定した理由	「社会を明るくする運動」堺市大会への参加者数が増加することで、再犯防止に関する必要性が共有され、更生支援の取組に対する理解が図られる。					
	目標値の設定根拠・算出方法	実績に基づき算出					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		再犯防止推進事業				事業番号		011-264	
-------	--	----------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算		決算		当初予算		当初予算	
		事業費 (a)	1,340		1,013		970		945	970
		国支出金	0		0		0		0	0
		府支出金	0		0		0		0	0
		市債	0		0		0		0	0
		その他 ()	0		0		0		0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0	0
	一般財源	1,340		1,013		970		945	970	
14	人件費 (b)	0		0		0		0	0	
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	1,340		1,013		970		945	970	

事業費の内訳(単位：千円)

16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		社会を明るくする運動	R7	決算	398	398		R7	決算		
			R8	予算	398	398		R8	予算		
		矯正施設所在自治体会議負担金	R7	決算	10	10		R7	決算		
			R8	予算	10	10		R8	予算		
		堺市更生保護女性会事業補助金	R7	決算	220	220		R7	決算		
			R8	予算	220	220		R8	予算		
		堺市保護司会事業補助金	R7	決算	300	300		R7	決算		
			R8	予算	300	300		R8	予算		
		その他	R7	決算	17	17		R7	決算		
			R8	予算	42	42		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	① 保護司会研修・会議等実施回数	回	12	11
	② 上記①にかかる年間経費	千円	300	300
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	25,000	27,273
	算出についての説明等	補助金のうち、保護司会事業に係る費用÷保護司会研修等実施回数		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18

堺市保護司会連絡協議会や堺市更生保護女性会、「社会を明るくする運動」堺市推進委員会が実施する事業に対し、補助等を行った。
更生保護関係団体や大阪保護観察所等と協力して実施する「社会を明るくする運動」については、令和7年度は堺市大会を開催し、再犯防止に係る啓発を実施することができた。また、市内の小・中学校の協力を得て作文コンテストを開催し、134校の小・中学校から応募があった。同取組を通して、市民が犯罪予防や更生支援について考える機会を確保することができた。
加えて、堺市保護司会連絡協議会及び堺市更生保護女性会に対して、堺市こころの健康センターと堺市ダルクから講師を招き、薬物対策研修を実施した。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

全国的な傾向として、刑法犯検挙者数は減少傾向にある一方、検挙者数に占める再犯者数の割合は近年上昇している。満期釈放者や起訴猶予者等を含む犯罪をした者の再犯・再非行を防止するためには、刑事司法関係機関における取組のみならず、自治体や民間協力者との連携が不可欠であり、これら民間協力者の活動を促進することが必要とされている。
また、「社会を明るくする運動」への参画や更生保護関係団体の活動への支援を通じて、更生支援に関する市民の理解が深まり、更生支援の促進が図られることにより、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与し、市内における地域福祉の推進につながる。
以上より、堺市基本計画2025における施策である「犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現」に寄与したものと考える。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20

必要性
■ 高い
□ 低い
有効性
■ 高い
□ 低い

堺市保護司会連絡協議会や堺市更生保護女性会、「社会を明るくする運動」堺市推進委員会は、再犯防止に向けた地域の重要な担い手であり、その取組は地域にとって必要不可欠なものである。これらの活動は、更生支援への理解促進と再犯防止につながり、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するものであることから、本事業は必要性・有効性の高い取組である。